

第2510地区 第11グループ



2008~2009

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2008~09年度
国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに



2008~09年度
国際ロータリー会長

李 東 建

D. K. Lee

山下清司 会長 テーマ

— 会員相互の協力、助け合い —



4月4日 08-09年度第10・11グループ I.M

《第2194回例会》 第36号 4月8日(水)

本日のプログラム

卓話「ゴミの分別・リサイクルについて」

函館市出前講座

★会 長 山 下 清 司

★幹 事 成 田 豊

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870

小笠原商事(店舗賃貸)

代表 小笠原 孝

〒042-0915 函館市西旭岡1丁目3-8

TEL(0138) 50-3116 FAX(0138) 50-3146

(広告掲載：小笠原 孝 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【4月7日現在のアクセス数：7618件(+44件)】

◎3月18日出席報告 (柴崎 晃 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	19名	当日欠席	11名
他クラブ出席	7名	出席合計	26名
出席率		86.67%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・4月15日
プログラム

地区協議会報告

会長エレクト 弗田 和則 会員

2008～2009〈第2193回例会〉第35号

4月4日の記録

◎司 会 山下 清司 会長

◎会長報告 山下 清司 会長

- 千葉 昭会員が3月30日午後4時45分ご逝去されました。本日は移動例会のため黙祷は次週の例会で行います。
- 今月の誕生祝は次週の例会でお渡しいたします。
- 4月の理事会は次週4月8日に開催します。

◎委員会報告

○プログラム委員会 藤田 正男 委員長

次週4月8日の例会プログラムは函館市の出前講座です。紫前さんをお願いしてセッティングしましたので、多くの皆様の出席をお願いします。

◎幹事報告 成田 豊 幹事

- 当クラブ4月22日(水)の例会は早朝例会に変更いたします。詳細のご案内は次週の例会にいたします。

◎08-09年度第10・11グループ I.M

○プログラム

点 鐘	IMリーダー	光 銭 裕二	謝 辞	IMリーダー	上野 一義
国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」			閉会の言葉	IM副運営委員長	菅原 昭
	ソングリーダー	本間 哲	点 鐘	IMリーダー	光 銭 裕二
開会の言葉	IM運営委員長	能戸 彰	<懇 親 会>		
歓迎の言葉	函館五稜郭RC会長	阿彦 治	開会の言葉	函館五稜郭RC会長	阿彦 治
来賓紹介	IMリーダー	光 銭 裕二	直前ガバナー挨拶	パストガバナー	酒井 正人
参加クラブ紹介	IMリーダー	光 銭 裕二	祝 杯	ガバナー	矢橋 温郎
IMリーダー挨拶	ガバナー補佐	光 銭 裕二	乾 杯	七飯RC会長	柴田 晴史
ガバナー挨拶	ガバナー	矢橋 温郎	ロータリーソング「手に手つないで」		
パネルディスカッション			ソングリーダー	本間 哲	

『道南圏ーその夢』ー新幹線が拓く道南の未来ー

コメンテーター	渡辺 好明
コーディネーター	長野 章
パネリスト	古屋 温美
パネリスト	福井 邦幸
パネリスト	寺坂伊佐夫



古 屋 温 美 (北海道大学大学院水産科学研究院准教授)

「新幹線の新たな活用

～水産物輸送の可能性と道南地域への効果について～」

青森函館間の新幹線延伸工事が平成26年度に完成する予定である。新幹線を活用した観光振興、産業振興など地域振興施策の実施と地域経済波及効果の創出が課題となっている。道南地域から出荷された水産物が首都圏でのせりかけられるのは、漁獲した翌々日となるため、鮮度や価格面での競争力低下の要因となっている。新幹線を活用した水産物輸送システムを提案する。





福井 邦幸 (札幌商工会議所)

「北海道新幹線の現況について」

北海道新幹線の函館延伸について

- 北海道新幹線 3つのポイント
- その1：新幹線は日本の“背骨”
- その2：東京まで3時間57分！
- その3：東北との交流が増える



寺坂 伊佐夫 (函館バス(株)代表取締役社長)

「新幹線時代の道南広域観光」

函館観光はこの間、函館山などの観光資源に胡坐をかいていました。新幹線は来年青森まで開業いたします。函館開業のプレとして緊急に新たな観光の方向性を見出さなければならない時期を迎えました。行政の力・市民の力・企業の力・学生の力を合わせた住民総力を上げて取り組む時、大きなパワーのある道南観光ができるものと考えます。点から面への観光を実現すべく、新幹線時代の道南地域を活性化させるべく頑張るのは今…。



矢橋温郎ガバナー



次年度ガバナー補佐の函館北RC石橋輝夫会員

